

市民会館等再整備事業の進捗状況について

藤沢市民会館等再整備事業（以下「本事業」といいます。）については、平成30年11月に開催された「藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会」において、建て替えによる再整備の方針をお示しするとともに、再整備にあたっての課題や事業スケジュール（案）などについて報告いたしました。

今年度は、市民・利用団体等との意見交換や庁内検討、サウンディング調査などを進めていますが、それらについての現在の進捗状況や今後の予定などについて報告するものです。

1 これまでの取組について

令和元年	8月21日	庁内検討プロジェクト開催（第1回）
	24日	中高生を対象としたワークショップ開催
	9月7日	市民ワークショップ開催（第1回）
	10月12日	市民ワークショップ（台風のため中止）
	18日	庁内検討プロジェクト開催（第2回）
	11月9日	市民ワークショップ開催（第2回）
	12日から15日	サウンディング調査実施（市独自）

2 ワークショップについて

市民会館等の再整備に当たり、令和2年度に検討を予定している基本構想の策定に資する意見をいただくことを目的に、広報やホームページ等で参加者を公募してワークショップを開催し、これからの藤沢市の文化や市民会館のあり方、求められる機能などについて、意見交換等を行っています。

(1) 中高生を対象としたワークショップ

参加者は2班に分かれ、まず、身近で困っていることやこんな場所があって欲しいといった意見を自由に出し合いました。次に、それらを基に、どんな施設・機能が望ましいかを話し合いで考えてもらい、最後にそれぞれの班内で出た意見の発表を行いました。実施結果については、資料2のとおりです。

(2) 市民ワークショップ

市内に在住・在勤の方で、計4回（当初5回を予定していたが、台風の影響で10月開催が中止）ともに参加いただけることを基本に、公募を行いました。応募いただいた28人の参加者は3班に分かれ、それぞれの開催日での基調講演後、その日の課題に関する各班での議論を作った後、最後に発表という形式で行っています。それぞれの内容等については、次のとおりです。

ア 第1回市民ワークショップ

日時 令和元年9月7日（土）午後2時から午後5時
講演 藤沢の文化の歴史と果たしてきた役割について
藤沢市の公共施設再整備を取り巻く状況について
議論 藤沢の文化とは？20年後の藤沢文化はどうあるべきか
市民会館のあり方について

イ 第2回市民ワークショップ

日時 令和元年11月9日（土）午後1時から午後4時
講演 全国のホールの現状・先進施設事例紹介
議論 市民会館に求められる機能について
市民会館に求められるホール機能について

ウ 第3回市民ワークショップ

日時 令和元年12月7日（土）午後1時から午後4時予定
講演 先進施設事例紹介（予定）
議論 その他の機能の検討（予定）

エ 第4回市民ワークショップ

日時 令和2年1月11日（土）午後1時から午後4時予定
講演 市民会館の建て替えと今後の藤沢の文化の発展について（予定）
議論 まとめ

3 関係団体との意見交換について

今後、藤沢商工会議所や藤沢市文化団体連合会、図書館協議会、公益財団法人藤沢市みらい創造財団などの関係団体に対し、再整備後の市民会館機能等に関する意見・要望について聞き取りを行っていく予定です。

4 庁内検討プロジェクトについて

再整備の検討に当たっては、単なる建築物の整備という視点だけでなく、福祉、住民自治、防災、環境、産業振興といった多角的な視点が必要と考えています。このため、庁内横断的な検討プロジェクトを組織し、藤沢市公共施設再整備基本方針である「機能集約・複合化」の具体的内容について、本事業用地周辺にある老朽化又は、課題等を抱えた施設などの洗い出しを行った結果のほか、全庁照会を踏まえた各課からの要望等を一覧にした「複合化機能の見直し調査票（資料3-3）」を基に検討しています。

なお、資料3-2は現時点での洗い出し等の結果を機械的にまとめて一覧にしただけのものであり、複合化すべき施設・機能については、今後、財政負担の縮減についての視点のほか、市民ワークショップなどの意見等を踏まえ、次のような視点から、次年度以降に予定している基本構想策定において、引き続き検討していきます。

- (1) 市民や利用者等が望む機能についての視点
- (2) 市民会館や南市民図書館などの文化施設が集積されるエリアでのマッチングの視点
- (3) 機能集約による利便性の向上についての視点

- (4) 生活・文化拠点エリア^{※1}全体で創出可能な効果についての視点
- (5) その他市民意見等により必要と思われる視点

5 サウンディング調査について

サウンディング調査は、事業発案段階や事業化段階において、事業内容や事業スキーム等に関して、直接の対話により民間事業者の意見や新たな提案の把握等を行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法です。また、対象事業の検討の段階で広く対外的に情報提供することにより、当該事業への民間事業者の参入意欲の向上を期待するものです。

市独自による調査は、文化芸術課が主体となり、ホームページ等で参加を募り、11月12日から15日に開催した直接対話（意見交換会）には26社の参加を得て、民間事業者の意見や提案等を受けることができました。今後、調査結果をとりまとめ、ホームページ等で結果の公表を予定しています。

また、企画政策課が主体となった国主催^{※2}のサウンディング調査への参加も予定しており、同じく、今後、結果の公表を予定しています。

6 今後の取組について

今年度の取組としては、市民ワークショップと庁内検討プロジェクトを並行して進め、関係団体との意見交換、サウンディング調査結果のとりまとめを行い、令和元年度の取組状況に係る報告書の作成を予定しています。

この報告書については、来年度設置を予定している「（仮称）基本構想検討委員会」にその内容を報告し、基本構想策定に向けて、引き続き検討していきます。

なお、今後の取組・本事業検討の流れのイメージについては、資料4のとおりです。

7 今後のスケジュールについて（予定）

令和元年	12月	5日	サウンディング調査（国主催）
		7日	市民ワークショップ開催（第3回）
		中旬	庁内検討プロジェクト（第3回）
		下旬	サウンディング調査結果の公表（市独自）
2年	1月	11日	市民ワークショップ（第4回）
	2月	上旬	庁内検討プロジェクト（第4回）
	令和2年度		基本構想
	令和3年度		基本計画

^{※1} 生活・文化拠点エリア：都市計画における境川右岸鵜沼東地区地区計画の土地利用の方針の中で、生活・文化拠点として、奥田公園・多目的広場等と一体的に、文化・情報・交流施設等の機能の集積を図るとともに、適正かつ合理的な土地利用を推進することとしています。

^{※2} 国主催：内閣府と国土交通省では、平成27年度から全国を9つのブロックに分け、官民連携事業に関する情報・ノウハウの共有・習得、関係者間の連携強化、具体的な案件形成を図るための産官学金の協議の場（ブロックプラットフォーム）を設置し、情報・ノウハウの横展開を図っており、当該活動の一環として、地方公共団体の有する案件の事業構想や公募案件等について、民間事業者から提案、意見をいただくサウンディングの場を平成29年度から設置しています。

令和4年度	基本設計
令和5年度	実施設計
令和6年度	解体工事
令和7・8年度	建設工事
令和9年度	供用開始

※令和4年度以降の予定については、平成30年11月に開催された「藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会」報告資料の事業スケジュール（案）のうち、直営方式による場合の予定です。

以 上

事務担当 企画政策部 企画政策課
生涯学習部 文化芸術課